



長野松代ライオンズクラブ

かわら版令和3年6月号パートⅢ



2021年6月発行
発行責任者 会長：山上 哲生
PR委員長：増田 和好

山上丸無事航海終わる

コロナ禍による制約された活動のなかで

「深い絆と連携力の発揮」～生活行動制約下での奉仕活動～今できることをできるかぎり をスローガンに昨年6月に勇躍と出港しようとした山上丸、外海(欧米)はコロナ台風による高波・暴風雨のため、一時出航も危ぶまれましたが(3-5月の緊急事態宣言)、ひとまず落ち着き、まずは湾内周航で様子を見ることとなりました。湾内(日本国内・県内)には、以前よりしっかりとした防波堤(マスク・手洗いの習慣)があり、また万が一の台風侵入に備えて十分な対策も行っていたために(三密回避・不要不急の外出回避)、外海からの高波や暴風などの影響は少なく、穏やかな波の中での湾内周航(奉仕活動)の予定でした。

しかし、外海よりの影響で湾内にも「さざ波」や「微風」が再び見られるようになると、一部の他船舶の中から、「大変だ、このままだと湾内にも高波や暴風が来るぞ」「もう湾内も危険だ」との声が見られはじめ、湾内放送(マスコミ)でもこれに輪をかけたように、「早く帰航しろ、帰航しろ」の大合唱、湾内中大騒ぎとなってしまいました。帰港する船舶が続

出する中、山上丸も残念ながら帰港、棧橋停留となりました。停留中、波は「さざ波」以上の強い波にはなりませんでしたが、「風評」という強い風が吹き荒れていました。しかし、前回のかわら版でお知らせしたとおりに、山上丸の「制約下での奉仕活動」は粛々に行なわれ、6月15日の最終例会をもって、無事に次期長谷川 L.新船長と交代が済みました。長野松代ライオンズは、今後も新船長の元で、コロナ禍に負けず活動してまいります。引き続きのご支援ご協力よろしくお願ひ申しあげます。



← L.山上会長より
新会長 L.長谷川へ代々受け継がれている会
長バッチ授与

山上会長、一年間お疲れ様でした。
長谷川丸の出港を見守りください。

最終例会 ↓



山上哲生会長そして、今年1年
ライオンズクラブ国際協会 334-E
地区2R1Z (地区代表)として、ゾーンチェ
アパーソンの大役を果たされた
L.海沼和幸を囲んで 「パチリ」



ライオンズクラブは1年
の始まりが7月となります。
新会長の下、心新たに55期をスタートいたします。